




緑の園 4月号
ヒルトップハイツ
グリーンプラザ
デイサービスセンター
だより

 第58号
 令和 3年4月1日発行

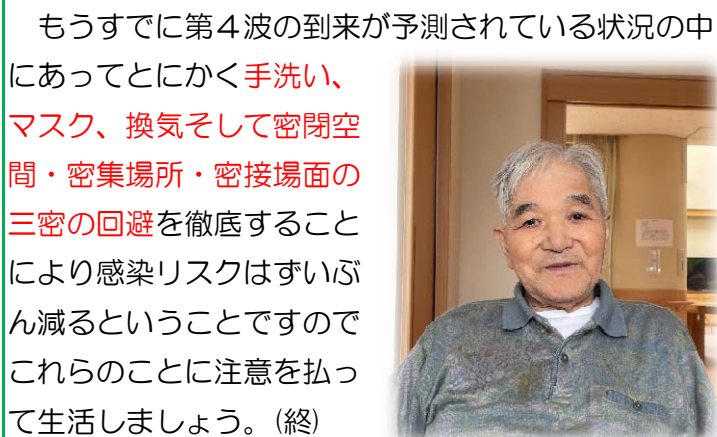



Van Halen/Fair Warning(1981)

「大切な人を、あなたが守る。」 身に付けたのは、マスクと 思いやりでした。by北海道



もうすでに第4波の到来が予測されている状況の中にあってとにかく手洗い、マスク、換気そして密閉空間・密集場所・密接場面の三密の回避を徹底することにより感染リスクはずいぶん減るということです。これらのことに注意を払って生活しましょう。(終)



国の緊急事態宣言は先月の21日に終了しました。

それより少し前の3月7日(日)をもって北海道は解除となりましたが感染拡大の心配がもうすでに語られはじめています。(3/24現在)

確かに感染症自体が改善したのではなく、感染者の人数が減ってきているだけなので気をゆるめると感染拡大の恐れが十分あり得ますので気をつけなければなりません。



第6回 理事会 第3回 評議員会 が開催されました。

先月の18日(木)社会福祉法人 丸瀬布社会福祉協会の令和2年度第6回理事会が、30日(火)には令和2年度第3回の評議員会がそれぞれ開催されました。

今回の理事会では令和3年度のそれぞれの施設ならびに事業所における収支予算案・事業計画についてをご審議いただきました。

また、法人の規程・規則の制定・改正についても同じくご審議いただきました。

昨年の今頃は集まって会議を開催することができず書面決議となりましたが、今年に関してはなんとか開催することができてなによりでした。

(終わり)



「春暖の候…。」今年の雪解けはずいぶん早そうです。

4月ですね。4月は「卯月」といいますが卯の花が咲く「うの花月」から来たという説や、稲の苗を植える「植え月」の略という説もあるそうです。

「うの花(ウツギという木の花)」は、初夏の頃白い五弁の花をつけるらしいのですがなぜそれが4月の呼び名の語源になったのでしょうかねえ…。

さて、先日ある利用者さんとお話をした時のことです。

その利用者さんが「最近字を忘れて困る。」とおっしゃるので、どのような字なのかを伺ったところ「託す。」だということです。

自分の息子さんに今後のことを「託したい。」ので手紙を書いているのだけれど、字も出てこないし書こうとしたことを寸前で忘れてしまう…。

とのこと。

「託す。」という言葉

(字)は普段使う言葉ではないのですがすぐには思い出せませんよ、それ使えるということ自体すごいことだと思いますけど…。

そんなことを話しながら楽しい時間を過ごすことができました。

利用者さんとの会話で時にはお叱りをいただくこともありますので楽しいことばかりでは

ありませんが、残念ながら今の世の中は感染症におびえながら、正直つらい何かにつけて不便ともいえる世の中です。

でも、いつの時代にだってこの世の中には様々な不便なことがたくさんあります。



その不便さからいいものを生み出そうとし、また生み出すことができてきたのも今までの流れであります。

ヘレンケラーは、「障害は不便だけれど不幸ではない。」と語ったそうです。

不便は工夫でなんとかできる、不便と思うことそのものが実は必要なんだと思います。

確かに多くのものをなくせばなくすほど逆に新しく見つけたものも多いような気がします。

今まで何気なく送ってきた何でもない日常のありがたさをつくづく感じています。(おばら)

かくして施設に勤めて36年目がはじまります…。



まさしく春暖の候ともいうべき春爛漫の4月が始まりました。

新型コロナウイルス感染症の勢いはまったく衰えた気配は感じられない状況ですがなんとか令和3年度をスタートすることができました。

さて、私は施設の職員として36回目の4月1日を迎えます。

勤務年数は長いけど失敗ばかりが多くて今でもいろいろな方からお叱りのお言葉を頂戴します。

以前勤務していた法人の理事長から予算案を理事会に上程した際「小原君は数字を自分のものとしていない、だから相手にうまく伝わらない。」と指摘されました。

その時以来わかりやすい説明に心掛けてはおりますがまだまだトンチンカンな説明だったり反省することが多く、迷惑ばかりかけています。

こんな私ですがどうぞよろしく。(おばら)

